

第51回 津久見扇子踊り大会



8月24日(日)、つくみん公園で第51回津久見扇子踊り大会が行われ、32団体約900人の踊り子が参加。美しい扇子踊りの輪がやぐらを囲みました。

扇子踊り娘による舞台踊りや、檜の実少女少女合唱団の歌声が華を添えるなど、今回は悪天候のため、順延となつての開催だったにもかかわらず、例年にも負けない賑わいをもてくれました。



津久見市長賞を受賞したのは
扇子踊り保存会のみなさん





津久見櫓の美少女少女合唱団のみなさんも大会に花を添えてくれました。



【津久見扇子踊りの

由来】

津久見市が大友氏の支配
下にあった戦国時代、戦没し
た勇士や農民の供養のため
に「扇子踊り」ができたとい
えられています。
京舞いの流れをくむ優雅
な舞は津久見を代表する郷
土芸能です。

今年も19名の扇子踊り娘のみなさんが大会を盛り上げてくれました。ありがとうございました。

